

第30回 「医療関係者の集い」の開催を終えて

東邦大学理学部臨床検査技師課程長
村野武義（平4・化学）

例年3月賑やかに開催される「医療関係者の集い」ですが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、今年度も昨年に引き続き9/16（土）にオンライン（Zoom）にて開催いたしました。臨床検査技師課程の卒業生が主催するこの集いは、卒業生同士の情報交換の場であるとともに現役学生にとっても社会で活躍する先輩方との交流の場でもあります。

第一部では今回の開催が第30回という節目にあたることから、本会の発起人の一人である三浦雅一氏（昭和58年生物卒：北陸大学薬学部教授）より「第30回開催を記念して」というタイトルで本会の発足に至るエピソードなどを御講演いただきました。画面を通してではございましたが、三浦氏の本会への熱い思いが、感じ取れたのではないかと思います。つづいて「COVID-19 感染症流行禍における検査室などの変化」と題し、昨年からのCovid19の世界的大流行が続いているなかで、実際の医療業界でCovid19という未曾有の事態にどう対処していったかの実体験を各分野で活躍する3人の卒業生より語っていただきました。「数多くの卒業生」が医療業界の各分野で活躍している本課程ならではの内容だったかと思います。

第2部ではOB・OGがZoomにて近況を報告しあうと共に在校生とOB・OGとの交流会として、在校生から事前に依頼した先輩方へ、対面形式で質問会を行いました。昨年から続くCovid19流行の中で、学生にとっては、例年のような就職活動もままならず、病院や企業見学の機会も奪われている状況で、様々な職種の先輩方より現場の生の声を伺えた貴重な機会だったと思います。

昨年を引き続きのオンラインでの開催となりましたが参加者数は約70名に上り、先輩の生の声が大変参考になったという学生の声を聞くことができたと共に、卒業生の方からもZoomだからこそ参加できた方や同窓生の活躍を聴いて活力となったとおっしゃる声も届き、実りある集いとなったことを嬉しく思います。今回集いに出演頂きました多くの卒業生の方々と共催して下さった理学部鶴風会にこの場を借りて厚く御礼申し上げます。

